



① 高山本店

神保町のシンボルともいえる神田古書センターの玄関口に店を構えるのは、創業明治8年(1875)、この街で一番の老舗「高山本店」。能、狂言、歌舞伎、武道、料理などに特化した品そろえで有名な古書店だ。大作家との交流も深く、作家の求める資料を探し集め、提供する。特に司馬遼太郎は資料集めを当店に任せ、その買い方は豪快で周辺書籍を総集めしたため、「ある日、あるテーマの本が神保町からごっそり消える」という司馬遼太郎伝説も生まれたほど。

03-3261-2661
千代田区神田神保町2-3 神田古書センター1F



② 鳥海書房

動植物に関する古書を扱う「鳥海書房」の書棚は、古生物、昆虫、釣り、野草など分類は40種以上。「海」の棚を見ていると「釣り」に誘われ、「鳥」を見ているうちに「昆虫」「植物」と次々に好奇心の深みにはまる。和本から最新刊まで、学術書も趣味本もそろえる。「多色刷木版の花や、1枚ずつ手で彩色された19世紀の銅版画の花や動物など、費やされた膨大な手間を想像すると、美しさと同時に情熱を感じて、時を忘れて見入ってしまう。うちに通い詰めた海藻好きの小学生が自然科学の研究者になったときは本当にうれしかった」(店主)

03-3264-4450
千代田区神田神保町2-3 神田古書センター3F



③ 農業書センター

日本で唯一の農業所専門の書店、「農業書センター」。平成26年(2014)に大手町ビルから移転し、現在の場所へ。農業に関する書籍を約36000冊販売しており、一般書店では入手することの難しい専門書も扱っている。技術書、専門雑誌から料理本や園芸の本まで、店頭に並ぶ本は多岐に渡る。専門家でなくとも十分楽しめる店である一方、マニアックな本も多く、訪れる度に新たな発見がある。スタッフの方に声をかければ、本選びの相談にも快く応じてくれる。店へ続く階段はギャラリーになっていて、そちらもおすすめ。

03-6261-4760
千代田区神田神保町2-15-2 第1富士ビル3階



④ 澤口書店 東京古書店

音楽、美術、写真、映画、建築など芸術書を中心に取り揃える「澤口書店 東京古書店」。店内にはマッチラベルやポスターなどの紙ものも充実しており、見るだけでも楽しい空間が広がっている。芸術書の他にも、世界史や洋書、クラシックやジャズのCD、DVDなど、取り扱い幅広い。2階には「くつろぎの空間」と呼ばれる喫茶スペースがあり、ドリンク片手に本に囲まれた空間でゆっくりと過ごすことができるので、休憩がてら立ち寄ってみては。

03-5577-6982
千代田区神田神保町1-7 源興號ビル1・2F



⑤ 田村書店

仏独文学を中心にヨーロッパの哲学・歴史・美術に関する書籍、洋書の稀覯書を扱う専門店。入口両脇には神社の千社札のように、全集の値札がこれでもかと言わんばかりに、数限りなく貼られている。扱う全集の数が多すぎて、実物はお店の人に頼んで出してもらわなければならないほど。1階には日本の近代文学や、西洋の古典を中心とした翻訳もの、哲学書やその研究書、2階には洋書が並ぶ。蒐集家には料理本(原書)、挿絵本、美麗装丁本が特に人気。店頭では日本一質が高いと言われる特価セールが行われ、いつも多くの人でにぎわっている。

03-3291-0563
千代田区神田神保町1-7



⑥ 悠久堂書店

美術展目録、料理本、ビジネス書などニッチ分野で日本一を狙う古書店。山岳関係の本と動植物の本の品揃えも豊富。1階は美術と食のフロア。美術好きの日本人の支持が絶大なのはもちろん、海外、特にアジアの美術好きな外国人旅行者も美しい日本の印刷物を求めてたくさん訪れており、その数は全体の割にも達する。料理本の品揃えはプロの料理人も信頼するほどで、上の世代の情報を集める若い女性たち向けに古い『暮らしの手帖』なども用意している。2階は山と動植物のフロア。新刊から古本まで様々な、山の雑誌のバックナンバーも揃う。

03-3291-0773
千代田区神田神保町1-3



⑦ 村山書店

建築・理工系の書籍が多いが、心理・哲学・宗教・歴史・法律など人文系も揃う。コンディションのいい専門書をできるだけ安く提供する店で、発売からして時間の経っていない新刊本もいち早く店頭に出る。特に講談社学術文庫に関しては他の追随を許さないほど力を入れており、散り散りにならぬようまとめて引き取ることで在庫を支え、日本中の「探している人」の要望に応えている。それに加えてクラシック音楽やカメラ、ガイドブックなど趣味の本も豊富。店先には国内外の怪談・奇談小説などホラー関連の書籍が一箱程度並んでいることも。

03-3291-1617
千代田区神田神保町1-3



⑧ 明倫館書店

理工学・自然科学系の学術専門店で、数学関連は随一の品揃え。学術書が多く、硬い店というイメージもあるが、実は読み物、趣味的な本や雑誌も扱っている。古いラジオや時計の修理の本や、建築関係の意匠・デザインを扱った名著などは、値段によらず入荷すればすぐ出てしまうほどの人気。店頭の特価本にはいつも人が群がって、回転が大変早い。オーディオ、無線関係の本を探すマニアは必ずと言っていいほどこの店を訪れる。ホームページにも力を入れていて、顧客が探している本が見つかったらメールで連絡するサービスも行っている。

03-3294-0446
千代田区神田神保町1-9



⑨ 慶文堂書店

図書館や博物館など公の機関をはじめとする専門家たちが、史料集めの際に頼る歴史の専門店。時代小説などを書く小説家や研究書の著者など、本を書く側の人が時代考証のための史料を求めて訪れることも多く、松本清張もその一人。老舗が並ぶ靖国通り沿いの中で、一見すると左右の古本屋に挟まれてすこし窮屈そうな小さな店だが、古書店を外見だけで判断してはならない。日本史・郷土史・東洋史を中心に宗教や美術、文学作品までもが書棚には並んでおり、さらに倉庫では店内の何十倍にもおよぶ書籍、価値の高い史料の数々が保管されている。

03-3292-0281
千代田区神田神保町1-1



⑩ 石田書房

映画に関わる仕事をしてきた「映画人」の店主が作り上げる、映画好きのためのお洒落な空間。場所は三省堂書店の裏側、すずらん通りにあるビルの2階だ。台本・シナリオなどの映画関連資料や、脚本集&脚本関連本・黒澤明・チャンバラ映画・日本映画全般・映画評論などの映画関連書籍を専門に扱うお店で、日活映画・ゴダール・トリュフォーなど、ヌーベルバーグ時代関連の書籍を扱っている。映画に登場する小道具や装身具などの美術に関する書籍もある。本棚はきちんと分類・整理されていて、どこに何が並んでいるのかとても分かりやすい。

03-3292-7525
千代田区神田神保町1-19 藤本ビル2F



⑪ 愛書館 中川書房

平成24(2012)年にオープンした、古書全般を扱う「愛書館 中川書房」。靖国通りから1本入った路地裏、文華堂書店の隣に店舗を構える。買取りによる仕入れが多いため、いつ何が入荷するかはその時々のお楽しみ。全集・歴史・宗教・哲学などの専門書、美術・建築・写真など趣味の本、和本・版画などの古典籍、岩波文庫・講談社学術文庫・ちくま文庫などの学術系を中心とした文庫本など、幅広く取り扱っている。

03-6272-8998
千代田区神田神保町2-3-11



⑫ 波多野書店

神保町の古書店街のはずれで、マスコミ・ジャーナリズムという分野の専門書を扱うこの店は昭和24年の創業。店内の半分は一般社会科学系の本で占められている。主に入り口から入って右側部分が、マスコミ・ジャーナリズムに関する本のコーナー。天井に届きそうなほど高い書棚に本がぎっしり。その本棚の前には今にも崩れそうなほど高く積み上げられた本の山。しかし一過性のマスコミ論は置かれていない。ルポや紀行文もわずかだ。あくまで硬派な視点でジャーナリズムを論じる本や、新聞や通信の歴史といったいわゆる資料本に徹底している。

03-3261-7596
千代田区神田神保町2-7



選んだスポット



つながるスポット

Copyright(c) NPO 法人連想出版

